

- 白河市では、森林環境譲与税を活用し、森林整備を進めていく方針。
- 令和元年度においては、森林経営管理制度の意向調査対象林分の把握のため、既存事業での施業履歴の確認や伐採届出等の確認作業の一部を市職員で実施した。
- 令和2年度においては、森林整備を計画的かつ効率的に進めるため、施業履歴や伐採届出等の情報の整理を進める作業を委託業務により行い、意向調査林分の抽出や優先順位、各区域の森林整備の進め方を決定し、森林整備基本方針を策定した。
- 令和3年度においては、基本方針に基づいて意向調査及び集積計画の策定を業務委託により行った。併せて、林地台帳の更新作業を行い、令和4年度以降実施予定の森林整備の基礎資料とした。
- 令和4年度においては、前年度に事業委託した意向調査及び集積計画に基づき、表郷梁森地区の森林整備を実施した。また、市内の里山等の危険木等の伐採後の有効活用を図るために、ウッドチップper等を導入し、緑化団体等に貸し出しを行うこととした。

□事業内容

1 森林経営管理事業

令和3年度に実施した意向調査及び集積計画に基づき、間伐による森林の整備を実施した。

【事業費】 19,996千円(うち譲与税19,996千円)

【実績】 20.23haの森林整備を実施した。

2 ウッドチップper等導入事業

ウッドチップper等を導入し、里山等の管理団体に貸出しをおこない、危険木の伐採木の有効活用を図る。

【事業費】 3,465千円(うち譲与税3,465千円)

【実績】 令和5年度から、貸出し予定。

□事業スキーム

1 森林経営管理事業



□工夫・留意した点

これまで、里山等の管理団体から、危険木を伐採し、玉切りした状態で放置していた丸太をウッドチップperにするためのウッドチップperの導入の要望があり、全国の活用事例を参考に導入を図ることができた。



森林整備前



森林整備後

◇基礎データ

| | |
|---------------|------------|
| ①令和4年度譲与税額 | 33,884千円 |
| ②私有林人工林面積(※1) | 4,474.67ha |
| ③林野率(※2) | 56.6% |
| ④人口(※3) | 61,913人 |
| ⑤林業就業者数(※4) | 74人 |

※1、2「2020農林業センサス」より、※3、4「R2国勢調査」より